

委員質問・意見等への回答

平成29年11月1日
刈羽村（10月11日）受付分

（竹内委員）

● 新潟県、柏崎市、刈羽村 に対する 質問

① 先日の地域の会で、「全ての冷却機能喪失した状態が続いた場合、稼働中のプラントは 38 時間でベント操作、5 年以上の停止中のプラントでは 50 日以上たってからのベント操作」と教えていただきましたが、このベントまでに PAZ は避難完了が必要との理解でよいでしょうか？

【 回 答 】

- ・避難計画では、ベント前に避難を実施することになっています。
- ・避難完了が必要、不要の表現はしていません。

② 稼働中の原発で事故が起きた場合を想定すると、最短 38 時間という時間的制約があり避難計画に実効性を持たせることが困難です。まず停止中の原発での事故を想定し、十分時間のある中での避難を考えてみることで、改めて「実効性ある避難計画」とはどのようなものか分かるのではないかと思います。EAL2 で行う「UPZ のヨウ素剤緊急配布（県・市のみ）」と「PAZ の避難弱者の先行避難（施設から施設や病院から病院への避難の調整も含め）」を、それぞれどのくらいの日数があれば完了できると考えられるか、概算でよいので教えてください。

【 回 答 】

- ・避難時間：5 km圏離脱まで約 23 時間、30 km圏離脱まで約 32 時間の避難時間を推測しています。（『原子力災害時の避難に関する課題』（平成 26 年 8 月 26 日新潟県防災局原子力安全対策課発））
- ・要配慮者を安全に避難することが困難であると判断した場合は、村役場に 50 人を 3 日間滞在できるように陽圧設備を設置しており、屋内退避措置を平行して実施します。その間に避難を実施します。